

<平成28年省エネルギー基準対応>

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0339
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2026年9月7日	改訂日	
商品	APW331(真空トリプルガラス)(2026年10月発売)		
仕様	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり)		
窓種	・勝手口ドア 断熱腰パネル付		

■本附属書について
・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
・修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。
■開口部の熱貫流率について
・試験値は、JIS A 4710Iに基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
・計算値は、JIS A 2102-IIに基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。
・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき 選定したものです。
■開口部の日射熱取得率について
・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき計算された日射熱取得率です。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分

		アルゴンガス入り 一般ガラス		
		透明		不透明
		P3QT	P4QT	P3QF
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	3
	中空層厚	13	12	13
	室内ガラス厚	3/0.2/3	3/0.2/3	3/0.2/3
熱貫流率 区分 日射熱 取得率 区分	真空 トリプル ガラス	日射遮蔽型クリア	①	①

・「ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分」は当社製ガラスの代表的なガラス構成に基づいて求めたものになります。本書に記載のない当社製ガラスを適用する場合、及び当社製ガラス以外のガラスを適用する場合には、各附属書に記載の「開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧」にてガラス中央部の熱貫流率の値より性能値を参照してください。

・熱貫流率区分ごとの性能値は「開口部の熱貫流率 性能一覧」の各区分記号の行を参照してください。

■開口部の熱貫流率 性能一覧

樹脂スペーサー仕様							
区分 記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m ² K]		開口部の熱貫流率 [W/m ² K]		開口部の 日射熱 取得率	試験値	計算値
			付属部材 無し	風除室 あり			
①	1.2	以下	1.45	1.27	0.05	○	